

第6章 自然と調和する住みよいまち 第2節 市街地整備

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			合計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
市街地整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	所沢東町地区市街地再開発事業については、平成31年1月から施設建築物建築工事に着手し、令和3年11月の完成を目指している。また、公共施設整備(道路)工事についても令和3年度下半期からの工事着工に向けて関係機関・部署との協議・調整を進めている。今後も再開発組合に対して事業の推進に必要な助言・指導及び支援を行う。	R2年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	377,817千円	233,647千円	①東町再開発施設建築物の建築工事及び工事監理に対する補助金等を交付し、再開発組合に助言・支援等を行う。 ②骨格道路…権利者交渉	再開発事業の進捗状況	施設建築物建築工事及び公共施設(道路)整備工事の進捗状況を指標とする。	R2年度に改善した点			11. 住み続けられるまちづくりを				
	根拠法令	都市計画法、土地区画整理法、都市再開発法、所沢市街づくり条例等	R2予算現額	R2決算額(見込み)											
	事業の具体的な内容及び目的	東町及び日吉町の一部を区域とする日東地区について、所沢駅近接の商業地という地区の特性を踏まえ、民間活力により都市基盤の整備と街区の再編を一体的に図る事業を支援・誘導するとともに、安全で快適な都市環境への改善及び計画的な土地利用を誘導する街づくりを進めるものである。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
	日東地区まちづくり事業	1.85人	非常勤特別職	0.00人	施設建築物11階躯体建ち上がりまで完成	施設建築物11階躯体建ち上がりまで完成	目標達成済	現在行われている施設建築物建築工事は令和3年11月の工事完了、令和4年2月の引渡しを予定している。また、今後実施される公共施設整備(道路)工事は、歩行者・車両の交通量が特に多い区域であることから、再開発と一体的に工事を行うファルマン通り交差点改良及び交差点周辺の無電柱化整備に向けての関係機関・部署との十分な協議や調整が必要となる。			どのように貢献したか				
	期間	H17~	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①東町再開発 R3.3 施設建築物29階躯体建ち上がり完成 ②骨格道路 権利者と交渉を行った	R2目標	R2実績	施設建築物29階躯体建ち上がりまで完成			施設建築物29階躯体建ち上がりまで完成	市街地整備課長 鎌田実幸			
			1.41人	会年職員	0.00人	R3目標		施設建築物建築工事了							
		11,517千円													
市街地整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和2年度の目標値については、令和元年度に土地開発公社対応により取得した用地2件の買戻を行った用地1件については、権利者の意向により取得が出来なかった。令和3年度については、引き続き丁寧な交渉を行っていく。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	132,871千円	71,180千円	①権利者交渉 ②用地取得	ファルマン通り交差点改良整備に向けた進捗状況	ファルマン通り交差点改良整備までに必要となる各段階の手続きや事業の進捗状況を指標とする。	R2年度に改善した点			11. 住み続けられるまちづくりを				
	根拠法令	都市計画法、道路法、所沢市街づくり条例等	R2予算現額	R2決算額(見込み)											
	事業の具体的な内容及び目的	広域避難場所である所沢航空記念公園へ向かう重要な中継地点であるファルマン通り交差点は、交通渋滞や安全性の面で多くの課題を抱えている。所沢東町地区第一種市街地再開発事業で整備する都市計画道路中央通り線(県道久米所沢線区間)の整備時期に合わせて、交差点の改良整備を行い、交差点処理能力と安全性の向上を図るものである。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
	ファルマン通り交差点改良事業	0.65人	非常勤特別職	0.00人	用地取得(公社対応2件・公社買戻1件)	用地取得(公社対応2件・公社買戻1件)	令和2年度の用地取得対象地について、物件調査を実施するとともに権利者との交渉を行ったが、権利者の意向により土地開発公社による用地の取得が出来なかったため。	令和3年度に用地取得を予定している権利者については、当該地で営業中の事業や権利者の年齢等を考慮しながら、今後も引き続き用地取得に向けて、より丁寧な交渉を行っていく必要がある。			どのように貢献したか				
	期間	H26~R5	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①不動産鑑定評価の時点修正及び物件調査の再積算の結果に基づき、権利者との交渉を進めた。 ②令和元年度に土地開発公社が取得した用地2件の買戻を行った。	R2目標	R2実績	用地取得(公社対応1件・公社買戻2件)			用地取得(公社対応0件・公社買戻2件)	市街地整備課長 鎌田実幸			
			0.91人	会年職員	0.00人	R3目標		用地取得(公社対応1件)							
		7,433千円													
市街地整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	所沢駅周辺まちづくりの重点事業に対して、今後も引き続き協議・調整を行うものである。令和2年度は所沢駅周辺まちづくり連絡協議会の開催が1回となり目標値は未達成であったが、令和3年度は引き続き、事業の進捗状況に合わせて開催する。また、商業団体等の連携については、商業部会(商業観光課が事務局)により対応するものである。	R2年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	2千円	①所沢駅周辺まちづくり連絡協議会の開催	所沢駅周辺まちづくり連絡協議会の開催状況	所沢駅周辺まちづくりに係る重点事業の進捗状況や歩行者ネットワークの形成等について、協議会を開催し、協議・調整を行うものであることから、協議会の開催回数を指標とする。	R2年度に改善した点			11. 住み続けられるまちづくりを				
	根拠法令	—	R2予算現額	R2決算額(見込み)											
	事業の具体的な内容及び目的	所沢駅周辺まちづくりに係る重点事業に対して、事業化に向けた事前協議・調整を行うとともに、既に事業化されている事業に対する進捗状況の共有化を図るものである。また、新たな所沢ブランドの創出とまちの活性化につながるように、様々な視点からの意見交換を行うことを目的として、必要な時期に所沢駅周辺まちづくり連絡協議会を開催する。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
	所沢駅周辺まちづくり推進調整事業	0.04人	非常勤特別職	0.00人	①第8回所沢駅周辺まちづくり連絡協議会の開催(令和2年10月12日開催)	1回開催	開催なし	新型コロナウイルス感染拡大防止による会議開催時期の見送りを行ったことや、協議会の議題にすべき内容の精査等が難しかったため。			今後本格化する歩行者ネットワークや駅前広場整備について、市で検討し、連絡協議会において意見を求める。また、街づくりの進捗状況を共有し、商業部会も含めて連携関係を図る。	どのように貢献したか			
	期間	H21~	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②	R2目標	R2実績	2回開催			1回開催	市街地整備課長 鎌田実幸			
			0.04人	会年職員	0.00人	③		2回開催							
		327千円													

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
所沢駅西口地区画整理事務所	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市街地再開発事業の施設建設工事が完了したので、今後は、清算・組合の解散に向けて引き続き再開発組合に対して助言や支援を行っていく。 歩行者ネットワーク整備については、Aデッキ(ワルツ所沢と所沢駅西口北街区を結ぶ)の工事が完了したことから、Bデッキ・Cデッキについても、早期の完成を目指し、整備を進めている。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,335,087千円	2,229,884千円	①工事	市街地再開発事業の総事業費に対する事業実績	市街地再開発事業や所沢駅周辺の回遊性の確保等が目標であるが、事業完了までには時間を要することから、令和2年度に建築物の完成を予定している市街地再開発事業の総事業費に対する事業費実績を成果指標とした。	R2目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②										
	都市計画法、都市再開発法、所沢市街づくり条例	1,533,061千円	1,465,185千円	③											
	所沢駅西口地区まちづくり事業	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							R2目標値が未達成の理由・分析
	西武鉄道車両工場跡地を含む当地区は、市の表玄関にふさわしい計画的な土地利用を推進し、都市基盤の整備による都市防災性の向上や良好な住環境への改善を図るため、所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業の完了を目指すとともに、所沢駅周辺の回遊性を高める歩行者ネットワークの構築を目指す。	4.00人	0.00人	①既存建物解体、施設建設工事、Aデッキ築造工事	90.9%	77.3%	R2目標値が未達成の理由・分析								
	33,248千円	0.00人	②	R2目標	R2実績										
期間	H13~	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	R3目標						引き続き事業のスケジュールを調整するとともに、国費要望等を行っていく。	所沢駅周辺の計画的な土地利用の推進と居住環境の改善を図る。			
所沢駅西口地区画整理事務所	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	引き続き移転予定の権利者とは協議を進めており、道路新設工事等についても事業完了に向け順調に進んでいる。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,550,109千円	1,225,167千円	①工事	土地区画整理事業により市街地が整備された面積	土地区画整理事業の目的として、都市基盤整備、宅地整備によるにぎわいの創出、良好な住宅市街地の整備を行うことから、土地区画整理事業全体の整備状況を成果指標とした。	R2目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②										
	都市計画法、土地区画整理法、所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理事業施行に関する条例	2,586,468千円	1,308,306千円	③											
	所沢駅西口土地区画整理事業	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							R2目標値が未達成の理由・分析
	西武鉄道車両工場跡地を含む当地区は、市の表玄関にふさわしい計画的な土地利用を推進し、都市基盤の整備による都市防災性の向上や良好な住環境への改善を図るため、所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業と一体的施行により行う所沢駅西口土地区画整理事業の完了を目指す。	8.00人	0.00人	①安全対策工事、下水管布設工事、道路新設工事	0.15ha	0.11ha	R2目標値が未達成の理由・分析								
	66,496千円	0.00人	②	R2目標	R2実績										
期間	H28~H37	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	R3目標						今後も権利者が円滑に移転できるよう、丁寧な説明を行い、早期合意形成を図っていく。	事業地区内における公共用地の割合を、事業施行前の9.25%から35.86%まで整備する。			
所沢駅西口地区画整理事務所	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	道路建設予定地に権利者がいることから、補償交渉を進めており、了承が得られたところから土地の購入を行い、事業を進めていく。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①委託	東村山第7号路切(大踏切)の交通遮断によるピーク時の所沢駅東西移動支障時間(分)	所沢駅ふれあい通り線の整備により、東村山第7号路切の遮断による所沢駅東西区間の移動の障害を無くすことを目標とするため、ピーク時の路切遮断による移動支障時間を成果指標とした。	R2目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②										
	都市計画法、道路法	113,878千円	79,547千円	③											
	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業(1工区)	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							R2目標値が未達成の理由・分析
	主要地方道東京所沢線から所沢駅東中央通りくすのき台交差点までの延長780m、幅員20mの道路で、鉄道と立体交差することにより、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消や東西市街地の一体化を図るため、このうちのアンダー部分から東村山第7号路切(大踏切)の通りである市道1-525号線までの延長170mについて、道路の整備を行うもので、早期の開通を目指す。	0.00人	0.00人	①詳細設計業務委託、物件調査委託、測量委託	開通後0分	51分	R2目標値が未達成の理由・分析								
	0千円	0.00人	②	R2目標	R2実績										
期間	R2~	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	R3目標						今後もプロジェクトチームによる進捗管理を行い、早期完成を図っていく。	鉄道により分断されている所沢駅東西地区を一体化させ、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消を図る。			
狭山ヶ丘地区画整理事務所	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	事業完了までの長期にわたる事業計画に基づき、事業を施行しているため。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	835,702千円	208,713千円	①土地区画整理事業の進捗状況	土地区画整理事業の進捗により、良好な住宅地が整備された面積	本事業の目的として、都市基盤整備、宅地整備による良好な住宅市街地の整備を行うことから、土地区画整理事業全体の整備状況(進捗状況)を目標値とした。	R2目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②										
	土地区画整理法、都市計画法、所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理事業施行に関する条例	907,810千円	209,638千円	③											
	狭山ヶ丘土地区画整理事業	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							R2目標値が未達成の理由・分析
	住環境の改善を図るため、道路、公園施設等の公共施設を計画的に整備し、良好な住宅地を供給するとともに、災害に強い街づくりの形成を図ることを目的としている。事業地内の地権者から減歩により土地を抛出していたり、その土地を公共用地(道路、公園等)及び保留地に充てる。保留地については売却し、その売却収益を事業費に充当し、事業資金とする。その他の事業資金については、国庫補助金、起債、市費(繰入金)等により事業費を確保し事業を推進する。事業完了後は、道路59,729㎡(20.1%)、公園等10,005㎡(3.4%)で全体の公共用地は69,734㎡(23.5%)となる。また、立体交差道路(アンダーパス)の整備により、鉄道により分断されている事業区域の一体化を図る。	4.00人	0.00人	①仮換地指定率 96.4%	30ha	29ha	R2目標値が未達成の理由・分析								
	33,248千円	0.00人	②	R2目標	R2実績										
期間	S62~H33	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	R3目標						地権者との補償交渉を継続して行っている状況であるが、今後は補償契約及び移転をお願いし、その後下水道や道路等の工事を施工し、事業の進捗を図っていく。また、仮換地指定をしていない地権者については、理解を得ながら仮換地指定を行っていく。	事業地内を安全かつ良好な環境に保つために道路修繕等を実施した。			